

令和7年度外部評価会 集計表(農業者)						
所属名: 始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課						
課題名② 根深ネギの排水対策による生産安定支援(伊佐)						
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの 意見・提言	意見・提言等に対する改善策や 普及指導計画への反映等
		適当	概ね 適当	要 改善		
課題の 設定	①農業者や地域が必要とする課題であるか	6	1		②生育不良対策として具体的です。	
対象の 選定	②課題に対して対象(農業者, 地区)の選定は適切であるか	6	1			
活動体制・ 活動方法	③関係機関とうまく連携して活動しているか	5	2		②目標とする深さを知りたかった。それがあれば作業機の能力が判断できたかもしれません。 ③関係機関を動かす力になりたい	ご意見を踏まえて、排水対策の実施や水田圃場の状況に応じた品目の選定などに生かしていきます。
	④活動(活動方法, 時期, 手段)は適切であるか	4	3			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	5	2			
活動の 成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか	1	6		④部会員や他の農業者にももっと宣伝してください。	部会などの研修会で、実証結果など情報提供を実施していきます。
活動の 波及性 と改善	⑦他の課題や他農業者, 地域への波及性があるか	2	3	2	①団地化のメリットは? ②米農家と情報共有して圃場選定マッチングです。 ③注目されるよう頑張りましょう。	排水対策のコスト面から、ネギ栽培に適した圃場での生産振興を計画しています。今年度は、指導農業者と若手産者で適切な圃場の地域からモデルとなる取り組みを行っています。
	⑧結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか	2	5			
全体的な意見・提言		①排水対策についてはコストが高く、効果的ではないため、ネギでなくこの畑にあった作物を検討するのも必要ではないかと思います。 ②結果として施工の費用も大きく感じましたが、この排水を何センチ目標で実施する計画がよかったのかそこも大切でなかったか? ③コストを抑えてよい圃場選定のためにも、水田農家と情報共有してマッチングできるとよい。 ③適地適作ができるようしくみができたらいいと思います。 ④伊佐市のネギ栽培への生産安定へつながると思う。ネギ部会全体への情報発信はなされているのか? ⑤石れき除去について転作水田はどこでも必要であり、ねぎに限らず各機関と連携をしながら継続できると他の地区とのモデルになりえると思った。 ⑦水田を利用した野菜栽培は伊佐も霧島も共通していて、排水対策が重要課題だと思うので、今後も解決に向けた取組を続けてほしい。				

令和7年度外部評価会 集計表(関係者用)						
所属名： 始良・伊佐地域振興局農林水産部農政普及課						
課題名②	根深ネギの排水対策による生産安定支援(伊佐)					
項目	評価の視点	評価結果(人)			外部委員からの意見・提言	意見・提言等に対する改善策や普及指導計画への反映等
		適当	概ね適当	要改善		
課題の設定	①課題は地域の農業振興上、重要な課題であるか	4	2		③地域の課題であるのかがよくわからない。	
対象の選定	②課題に対して対象(農業者、地区)の選定は適切であるか	4	2		③対象者等がわかりにくい	
活動体制・活動方法	③関係機関と連携して活動しているか	2	4			
	④活動(活動方法、時期、手段)は適切であるか	3	3			
	⑤専門的な技術・情報を活用して効果的な活動が行われているか	1	5			
活動の成果	⑥農業者や地域・産地等の育成や成長に効果が上がったか		4		③実績がどうなって、今後どのようになるのか	今年度は、排水対策によるネギ生産の安定を目指しましたが、コストや効果を考慮して、ネギ栽培に適するほ場を選定して、明渠等で対応するなど、適切なほ場で生産安定を目指しております。
	⑦指導対象が積極的に課題解決にあたるようになったか	1	5			
活動の波及性と改善	⑧他の課題や他農業者、地域への波及性があるか	3	3			
	⑨結果が十分でないものは今後の対策が考えられているか		4			

水田を生かした営農の推進

根深ねぎの排水対策 による生産安定支援

始良・伊佐地域農政普及課伊佐市駐在

1 この課題に取り組んだ背景

- 水田を生かした営農の推進が必要（伊佐市：水田率78.2%）
- 根深ねぎは、伊佐市の重点野菜
- 伊佐市・湧水町の根深ねぎは、「金山ねぎ」として販売
- 8割以上が水田栽培、湿害のリスク

→排水対策の徹底

→基本技術のみで栽培可能なほ場確保（モデル団地造成）

2-1 伊佐市の根深ねぎの現状（ほ場）

実際の圃場の状況（R5.7.20 撮影）

×湿害の水田



排水対策：プラソイラー耕、額縁明渠

生育不良な部分は、過度の生育不良、8月には鋤き込んだ。



不良部の拡大写真

対策をしても土壌の違いで、大きな差がある。

◎生育良好な水田

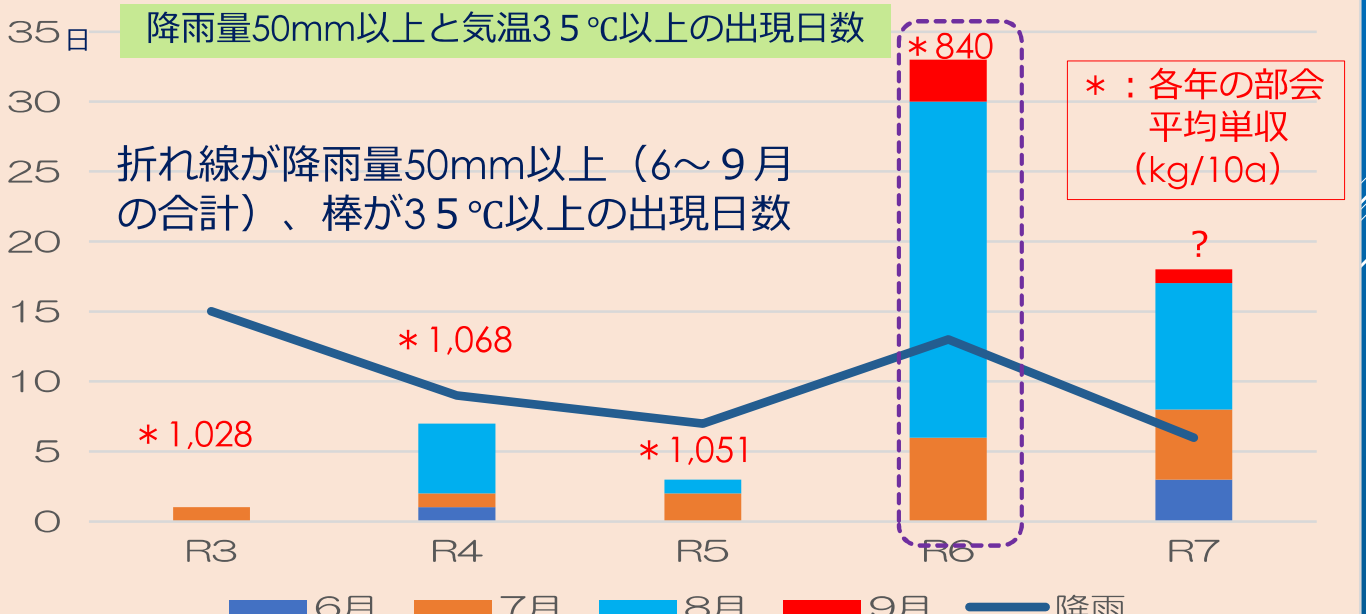


排水対策：深耕ロータリー耕、額縁明渠

2-2 伊佐市の根深ねぎの現状（降雨量と高温）

根深ねぎの生育に不適な環境の出現日数（アメダスポイント：大口）

日降雨量が50mm以上になると水がたまった状態なりやすい。
ねぎの適温は15～25℃、25℃以上の多湿条件は生育に悪影響



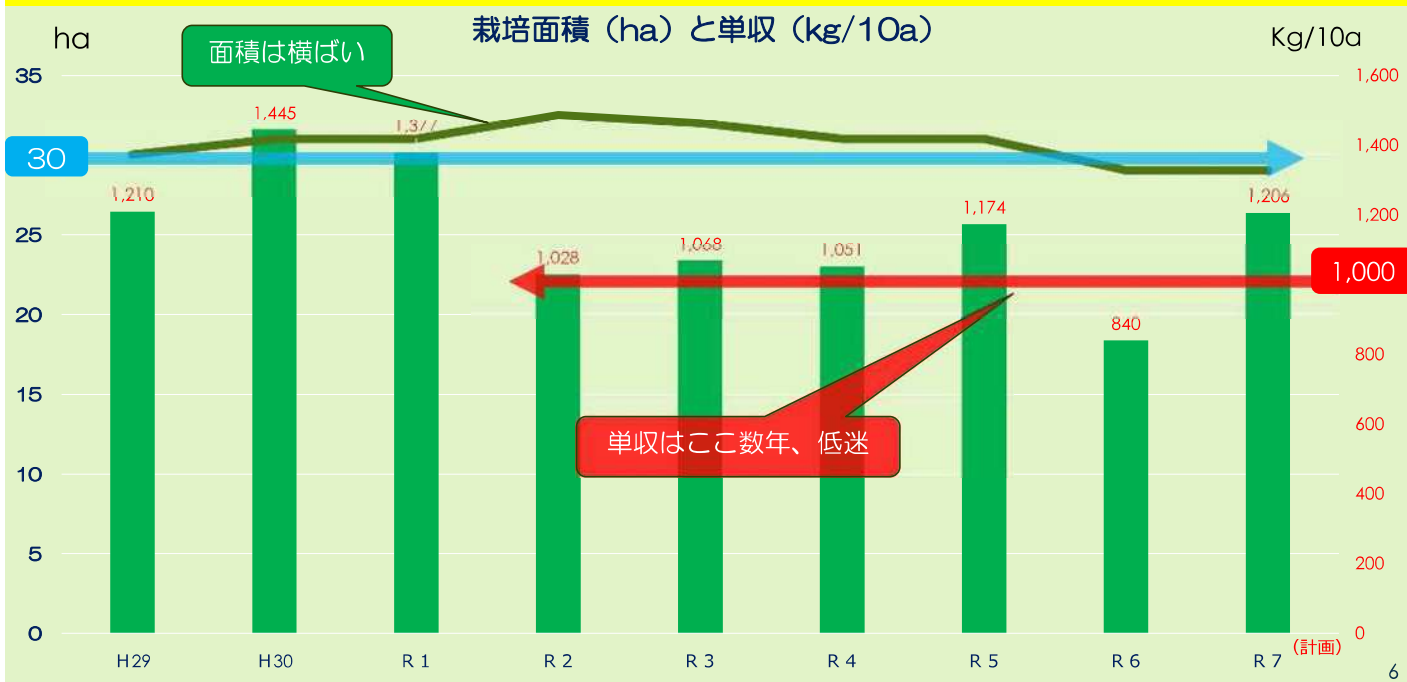
2-3 伊佐市の根深ねぎの現状（水につかったねぎ）



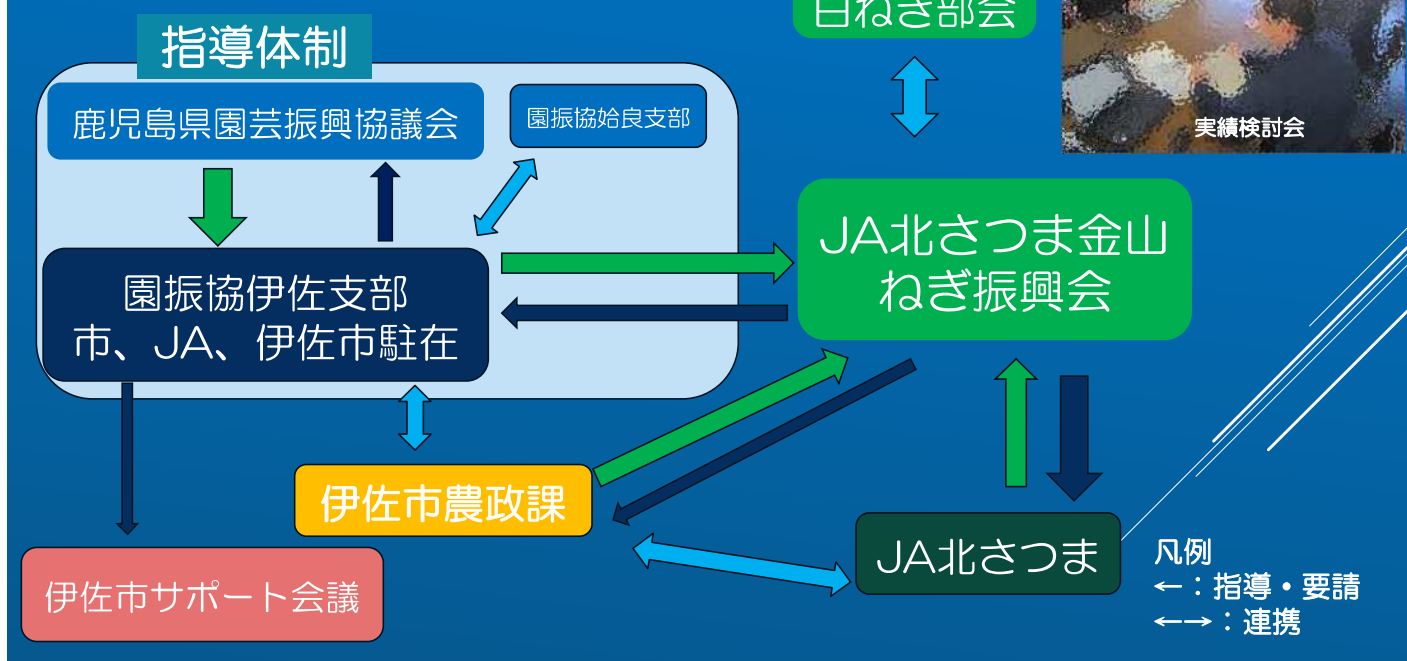
日降雨量40mm以上の翌日のほ場（R 6年2月5日）

2-4 伊佐市の根深ねぎの生産状況

出展：JA北さつま金山
ねぎ振興会総会資料



3 金山ねぎの支援体制



4 生産安定に向けた取組

▶ 土壌調査による圃場条件の確認

10筆のほ場調査

▶ 土壌調査に基づく対策の実施

令和5～6年度：石れき除去の実証

令和7年度：良質な圃場の確保（**基本技術**で栽培可能な圃場）

* 基本技術：弾丸暗渠・深耕、額縁明渠等の対策

5-1 ほ場条件の確認（土壌の透水性）

透水性（しみ込み具合の確認）



筒状の容器を畝上部に立て、容器内に水性白ペンキの10倍液を流し込み、しみ込みを確認した。

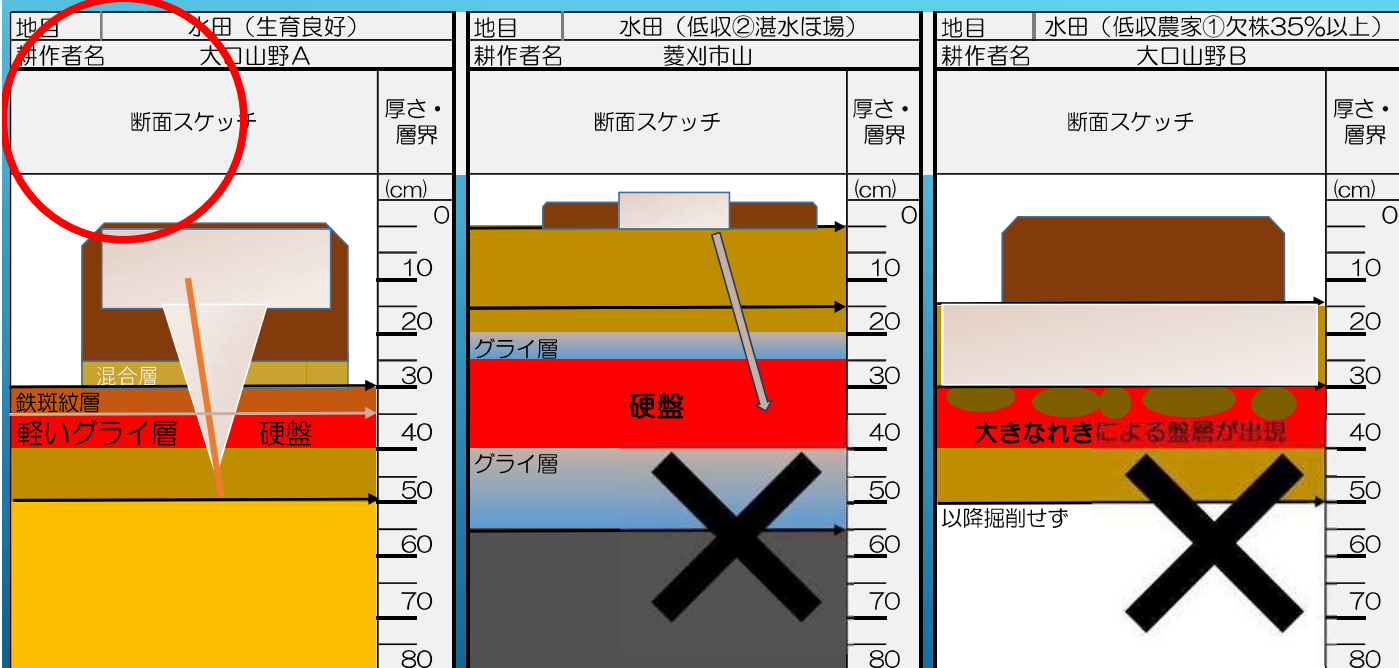


良好なほ場
ねぎの生育良いほ場。白ペンキは、畝内に広がりながら垂直にしみ込んだ。



不良なほ場
一晩たってもしみ込まず

5-2 ほ場条件の確認（土壌断面調査結果）



*実際の土の色とは異なるが、分かりやすいように硬盤層は赤色にしてある。

5-3 現状（気象条件、土壌調査）から分かったこと

- ▶ 作土層～硬盤層に大きな石れきが多く，作業機等が破損しやすい。
- ▶ 梅雨，台風時に湛水被害を受けやすい。
- ▶ 梅雨明け以降，ねぎの生育に不適當な気温が長期間続く。
- ▶ 梅雨，夏越ししやすい環境づくりが必要となっている。

11

6-1 排水対策の妨げ要因の除去（石れき除去）実証



ピッカの先端が10～15cm土に刺さり、石れきを拾い上げる。



ねぎ農家、土地改良区、市農政課、農村整備課を参集した現地研修会



直径30cmは拾えた。



直径40cmは拾えなかった。

12



6-2 石れき除去後の実証ほ

・6年3月実施（大口山野地区）



3月5日（翌日の風景）



3月7日（作業3日後の土塊）

- ・念入りに作業した場所、旋回部位に窪み（水溜まり）が発生した。
- ・水分が多かったために土を練った土塊が多く、大きな石れき（ヘルメットくらい）も多かった。

・6年12月実施（菱刈田中地区）



12月2～5日作業 その1



12月2～5日作業 その2

- ・拳大の石れきまで拾えた（大きく見える石が拳大）。
- ・前作（大豆）の収穫からの期間が短く、残渣も多く拾った。

6-3 効果確認（収穫前の根深ねぎの生育）

5年度：3月実施（大口山野地区）



R6年12月

念入りに石れき除去した場所に欠株が多かった（凹の発生，土が締まった）。

残存株率：36%



6年度：12月実施（菱刈田中地区）



R7年12月

排水不良による生育抑制、欠株の発生はなかった。生育は良好。

残存株率：80%以上



6-4 作業時間，除去した石れき等

場 所 (日時)	作業面積 (a)	実作業時間 (時間/10a)	除去量 (m ³ /10a)	経費 (千円)	ほ場条件、作業オペレーター等
山野 (3月4日)	20	3.5	10.5 (土塊込み)	156	山野川近く、2週間前に100mmの降雨 れき浮かし：農場主，れき拾い：農業機械担当専指
田中 (12月2～5日)	50	3.2	1.2	317	重留川近く、既に2tダンプで2台分除去済みほ場 農場主

6-5 石れき除去のまとめ

- (1) ほ場が乾き、大きな土塊がないこと
- (2) 拾える深さは頑張って15cm
- (3) 耕耘→ 石拾い→ 耕耘→ 石拾い の数回の反復作業
- (4) 70ps以上のトラクターとストーンピッカが必要
- (5) 50,000円/日のリース＋配送料・運賃等

17

7-1 令和7年度の活動の目標

基本技術で栽培安定が可能なほ場（モデル団地）の造成

- 基本技術：深耕、弾丸暗渠、額縁明渠
- 規模：3haのねぎ団地
- 参画人数：中核農家（指導農業士）を中心に若手が数人
- その他：情報共有等の話し合い活動の継続

18

7-2 成果（令和8年度のモデル団地造成）

- 農地集約ができる指導農業士との意見交換
（4～11月 6回開催）
 - 伊佐市菱刈での若手を含めた候補者の選定
 - 指導農業士の連単化に向けた取組
 - 圃場の確認・指導農業士からのアドバイス
-
- 指導農業士＋義弟、K氏、Y氏、F氏の5戸による
ミニねぎ団地（2.8ha）
-
- 部会で現地研修・技術実証ほとして活用予定



意見交換



割当ほ場確認



8 モデル団地の継続発展に向けた課題

- ▶ 栽培管理等の統一（特に病虫害対策）
- ▶ 定期的な話し合いによる適切な肥培管理等の情報共有
- ▶ 技術導入改善に向けた支援
- ▶ 次年度以降のほ場確保



紅色根腐病の被害

- 管内全体で“紅色根腐病”の拡大が心配される。

高温・干ばつが発生を助長

- 生育抑制
- 収穫の遅れ
- 収量減

これからも金山ねぎ振興のため、
共に頑張りましょう。

ご静聴ありがとうございました。